

# 東芝蒸気排出ユニット 設置工事説明書

形名 BRC-U60DD  
BRC-U75DD  
BRC-U90DD

## 安全上のご注意

- 設置工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

	<b>警告</b> “取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷 <sup>*1</sup> を負うことが想定されること”を示します。
	<b>注意</b> “取扱いを誤った場合、使用者が傷害 <sup>*2</sup> を負うことが想定されるか、または物的傷害 <sup>*3</sup> の発生が想定されること”を示します。

※1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。  
 ※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要しない、けが・やけど・感電などをさします。  
 ※3：物的傷害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

### ■図記号の例

下に示す記号は、説明書や製品に表示して、使用者に注意を促すための記号です。書かれている内容を注意深くお読みください。

	<b>禁止</b> （してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	<b>強制</b> （必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	<b>注意</b> （警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

 <b>警告</b>	
収納庫・ワークトップなどの商品の施工は、それぞれの施工説明書に従って行う施工を誤ると、使用中に取付ねじがゆるみ、思わぬけがの原因になる恐れがあります。	
配線・配管工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行う接続や固定が不完全な場合は、火災の原因になります。	
修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わない 発火・感電したり、異常作動してけがをする恐れがあります。	
据付け工事は、専門業者に依頼する ご自分で据付工事をされ、不備があった場合、感電や火災の原因になります。	
この施工説明書をよく読み、正しく確実に工事する 不備があった場合、感電や火災・けがなどの原因になります。	
アース工事を必ず行う アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（アース工事は、電気工事士の有資格者がD種（第三種））接地工事するよう法令で定められています。	
交流100V以外では使用しない 火災や感電の原因になります。	
コードをきずつけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、また、重いものを載せたり、はさみ込んだりしない コードが破損し、火災・感電の原因になります。	
コードは、端子台に確実に根元まで差し込む 接続が不完全な場合は、感電・火災の原因になります。	
水につけたり、水を掛けない ショート、感電の恐れがあります。	
火のついたローソク、蚊取り線香、タバコなどの火気や、揮発性の引火物を近づけない 変形や火災の恐れがあります。	

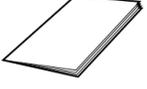
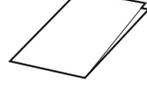
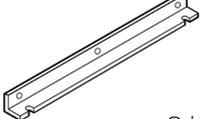
<b>お願い</b>	
<b>■施工上のお願い</b>	
●この商品の施工前に、取付ける対象の収納庫・ワークトップなどの商品の施工を、それぞれの施工説明書に従って正しく行ってください。特に、「安全上のご注意（必ずお守りください）」は大切な注意事項です。	
●収納庫・ワークトップなどの施工後、この施工説明書に従って、蒸気排出ユニットの施工を行ってください。	
●排気口の正面に、ガスコンロなどを設置しないでください。 （排気口から出てくる蒸気や風によって炎が立ち消える恐れがあります。）	
<b>■きず防止のお願い</b>	
●ダンボールや厚手の毛布で、収納庫やワークトップの上を十分に保護してから作業を開始してください。	
●ダンボールを開いたり動かしたりする時は、床や商品にきずをつけないよう注意してください。	

# 1 はじめに（工事される方へのお願い）

- 施工完了後は、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- 本体に同梱されている取扱説明書などは、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、施工完了後、お客様にお渡しください。

## 同梱部品の確認

■下記の付属部品が同梱されていますので、確認してください。

蒸気排出ユニット取付ねじ	取扱説明書	設置工事説明書(本書)	保証書
 4本 (4×8)	 1冊	 1冊	 1枚
キャビネット コンセント銘板	位置合せラベル	専用取付金具同梱機種の場合	
		専用取付金具	専用取付金具取付ねじ
 1枚	 2枚	 2本	 6本 (4×12)

# 2 据付けの前に

(単位：mm)

## 事前確認のお願い

- 家電収納庫などのキャビネットに、この商品を取付けるための専用取付金具が取付けられていることを確認してください。専用取付金具が取付けられていない場合は、本体に専用取付金具が同梱されていますので、説明書に従って取付けてください。
- 家電収納庫などのキャビネットの裏板の指定位置に電源線・アース線の取り込み穴があることを確認してください。

## 電気配線

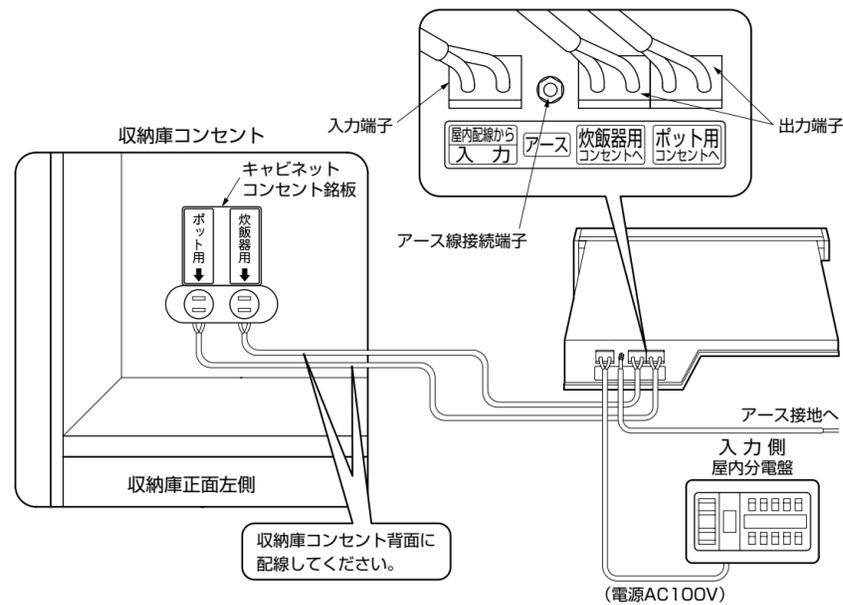
 <b>警告</b>	
配線工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行う接続や固定が不完全な場合は、発煙や火災の原因になります。	

- この商品を取付ける収納庫などに指定されている位置の壁面から50cm以上電源線およびアース線を取り出してください。
- AC100V 15A以上の電源容量の専用回路が必要です。
- 電源線は、VVFケーブルφ1.6～φ2.0のものをお使いください。

## 接地工事

- 漏電による感電事故を防止するために、必ずアースを設けてください。
- アース工事は電気工事士の有資格者がD種（第三種）接地工事するよう法令で定められています。
- アースは、他の電気器具と共用したり、ガス管・水道管への接続は危険ですので絶対お止めください。

## 配線例と各部のなまえ



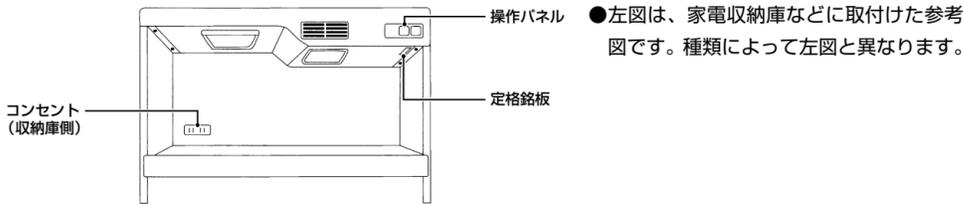
- 上図は家電収納庫（コンセント組込）などに配線した参考例です。コンセント位置や形状が実際に組込むキャビネットとは異なる場合があります。

# 3

## 据付け工事 (各機種共通)

(単位: mm)

### 1 施工例と各部のなまえ



●施工方法の説明文中では、蒸気排出ユニットを「本体」と呼びます。

### 2 本体の取付け

■施工図面を基に、次の事項をしっかりと確認してください。確認によって補充工事が必要なときは、施工に入る前に工事を依頼してください。

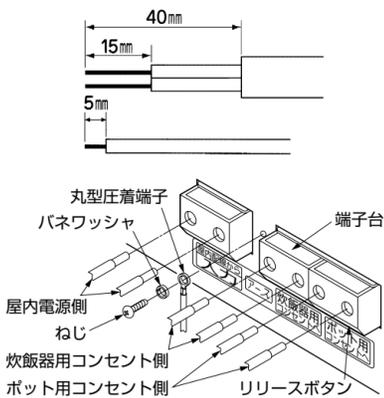
- 指定した位置に容量の適切な電源線やアース線があるか確認してください。
- ダンボールや厚手の毛布で、スライド台を保護してから作業を開始してください。
- 施工に入る前に、商品名・機種に間違いがないか、確認してください。

#### ■電源線・アース線の本体への配線工事

### 警告

配線する工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行う

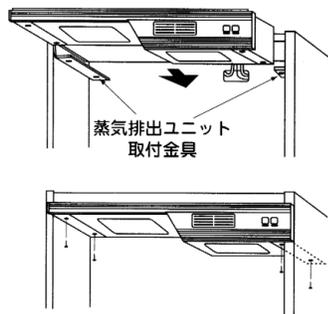
配線や固定が不完全な場合は、発煙や火災の原因になります。  
1,2,3,5については、配線工事をする方が行ってください。



- 電源線の芯線の被覆を15mmむいてください。
- アース線の被覆を5mmむいてください。4mmねじ用の丸型圧着端子を付けてください。
- 本体の端子台の接続口に電源線を差し込んでください。屋内電源用電源線を「入力」側に、コンセント側電源線を「炊飯器用」「ポット用」それぞれに差し込んでください。  
※接続は、「配線例と各部のなまえ」をご参照ください。
- 電源線を確実に奥まで差し込み結線してください。念のため、一度引っ張って確認してください。  
  
※接続が不完全な場合は、感電・火災の原因になります。
- アース端子のねじを外してアース線の丸型圧着端子とバネワッシャをねじへ通した後、アース端子へねじを確実に締め付けてください。

# 1

#### ■本体の取り付け



- 本体後部に貼り付けてある蒸気排出ユニット取付ねじ(4×8)を取り出してください。
- 本体を蒸気排出ユニット取付金具に載せ、前からスライドしてセットしてください。
- 蒸気排出ユニット取付ねじ(4×8)で、本体を蒸気排出ユニット取付金具に最終固定セットしてください。

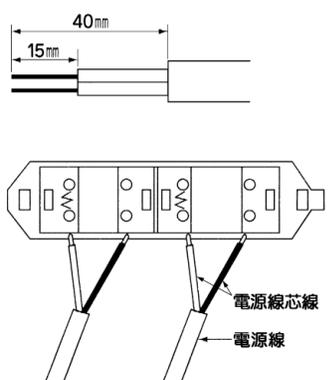
# 2

#### ■電源線のコンセントへの配線工事

### 警告

配線する工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行う

接続や固定が不完全な場合は、感電・火災の原因になります。



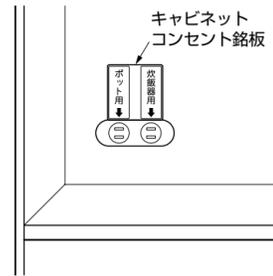
- 電源線(本体「出力」側からの)の芯線の被覆を15mmむいてください。
- キャビネットに同梱のコンセントの端子台に電源線を差し込んでください。  
※接続は「配線例と各部のなまえ」をご参照ください。
- 電源線を確実に奥まで差し込み結線してください。念のため、一度引っ張って確認してください。  
※接続が不完全な場合は、感電・火災の原因になります。
- 配線工事終了後、コンセントをキャビネットの背面に固定してください。

※上図は参考例です。詳しくはキャビネットの施工説明書に従ってください。

# 3

# 4

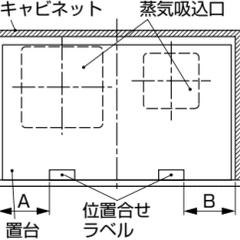
#### ■キャビネットコンセント銘板の貼付け



- キャビネットコンセント銘板を左図の位置に貼付けてください。  
※銘板の矢印2つと、キャビネット側コンセント2口の位置をあわせて貼付けてください。  
※右図は参考図です。キャビネットの種類によってはコンセントの位置が異なります。

#### ■位置合せラベルの貼付け

[上から見た図]



	A寸法	B寸法
BRC-U60DD	125	125
BRC-U75DD	275	125
BRC-U90DD	275	275

※キャビネット内側からの寸法です。

- 位置合せラベル2枚を左図の位置に貼付けてください。  
各機種により貼付け位置寸法が異なりますので表を参考にしてください。

貼付けることによって炊飯器等の蒸気排出口と回収口の合せが簡単に行えるようになります

# 5

#### ■施工後の確認

- ◆次の事項をしっかりと確認してください。
  - 本体が確実に固定されているか、確認してください。
- 取付け完了後の動作確認について
  - ◆本体の取付けが完了しましたら、「入/切」キーを押して選択ボタンで「手動」に設定してください。ランプが点灯し排気ファンが運転することを確認してください。

## 工事後の整理など

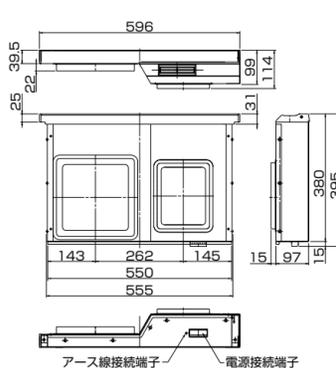
- 工事終了後も、商品には、必要なカバーをするなどして保護してください。
- 不要なダンボールや廃材は、持ち帰ってください。
- 火器や薬品の始末には、特に気をつけてください。
- 本体とキャビネットの清掃を行ってください。

## 廃棄処分について

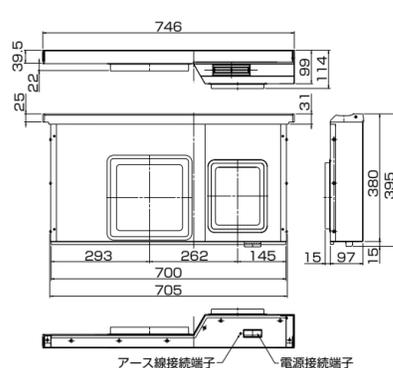
- 不要部材を廃棄処分する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

## 外形寸法 (単位: mm)

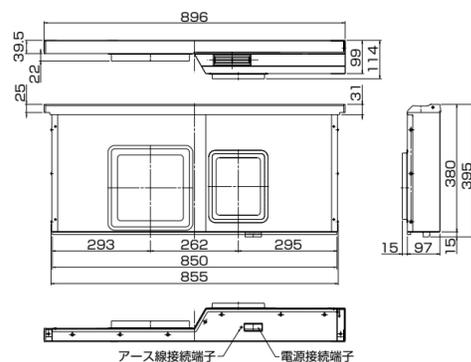
#### BRC-U60DD



#### BRC-U75DD



#### BRC-U90DD



東芝コンシューママーケティング株式会社 家電事業部  
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-2-15 (東芝昌平坂ビル)